

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	社会科	学年	第1学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 日本や世界の地理的事象に関心を持ち、地理的な見方や考え方の基礎を身に付けることができるようにする。
- (2) 日本や世界の諸地域を比較し関連づけて考えることで、それらの地域は相互に関係し合っていることや、各地域の特色にはその地域ならではの特殊性と一般的な共通性があることを理解できるようにする。
- (3) 歴史的事象に対する関心を持ち、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解できるようにする。
- (4) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考え、国際協調の精神の大切さに気付くようにする。
- (5) 社会的な事象を多角・多面的に考察し、物事の調べ方、学び方を学ぶ。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1 学 期	4 ・ 5 月	<b>【地理】</b> 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿  第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	◇緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ◇世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。 ◇我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ◇日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。 ◇世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。
	6 7 8 月	<b>【歴史】</b> 第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分	◇中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解し、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。

1 学 期	6 ・ 7 ・ 8 月	第2節 歴史の調べ 方・まとめ・発 表の仕方  第2部 歴史の大きな 流れと時代の 移り変わり 第1章 古代国家の成 立と東アジア 第1節 人類の登場 から文明の 発生へ 第2節 東アジアの中 の倭（日本） 第3節 中国になら った国家づくり 第4節 展開する天皇 ・貴族の政治	◇小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現する。 ◇身近な地域のなかで受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとのかかわりのなかで地域の歴史を調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 ◇博物館や郷土資料館などの利用や地域の人々の協力も考慮し、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ◇日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていたことを理解する。 ◇律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ◇仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。 ◇古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究する。 ◇東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことを理解する。 ◇日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づき、文化の国風化が進んだことを理解する。
	9 10 11 12 月	【地理】 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 ↓ 第6節 オセアニア州	◇人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。

2 学 期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 月		<p>◇世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>◇世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>
	1 ・ 2 ・ 3 月	<p><b>【歴史】</b></p> <p>第2章 武家政権の成長と東アジア</p> <p>第1節 武士の世の始まり</p> <p>第2節 武家政権の内と外</p> <p>第3節 人々の結びつきが強まる社会</p> <p>第3章 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>第1節 大航海によって結びつく世界</p> <p>第2節 戦乱から全国統一へ</p>	<p>◇武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。</p> <p>◇武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換を理解する。</p> <p>◇元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解する。</p> <p>◇南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもっていたこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことを理解する。</p> <p>◇ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解する。</p>

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> <li>・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる力を身に付けている。</li> <li>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や世界の地域に関わる諸事象、歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さや、我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。</li> </ul>
<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題 など</p>	<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題、レポート など</p>	<p>【評価方法】</p> <p>授業時の課題への取組の様子、レポート・課題への取組 など</p>

【学習へのアドバイス】

(1) 学習前の準備

- ①教科書、地図帳など授業で使うものを忘れてくると、大きな支障をきたすので、持ち物の確認をきちんとして授業に臨みましょう。
- ②次回の授業分の教科書の本文を読んで、読めない漢字や意味の分からない言葉があれば調べておきましょう。

(2) 授業中は・・・

- ①積極的に課題に取り組み、話し合い活動や発表では率先して自分の考えを発言しましょう。
- ②課題プリントやワークシートを渡されたら、必ずファイリングしておきましょう。
- ③ノートやワークシートには、先生がまとめた板書事項だけではなく、先生の大事な話や、授業中に自分で気付いたことなどもメモするようにしましょう。
- ④疑問点があったらそのままにせず、友達に聞いたり、授業中や授業後に先生に積極的に質問したりしましょう。

(3) 復習では・・・

- ①授業があったその日のうちに自主学習帳に取り組み、どんなことを授業で学習したのかを振り返りましょう。
- ②定期テストの前には、しっかり試験範囲を確認し、教科書やプリントなどを見直すとともに、もう一度自主学習帳を解き直し、学習内容がしっかり定着しているか確認しましょう。

#### (4) ニュースを見ましょう

- ① 普段から新聞やテレビを見たり，動画サイトで時事ニュースの解説を見たりしてみましょう。また，そのニュースの話題が世界や日本のどこで起こっているのかを地図帳で調べたり，その原因や自分ができることなどを考え，文章にまとめることができるようにしましょう。

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	社会科	学年	第2学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 日本や世界の地理的事象に関心を持ち、地理的な見方や考え方の基礎を身に付けることができるようにする。
- (2) 日本や世界の諸地域を比較し関連づけて考えることで、それらの地域は相互に関係し合っていることや、各地域の特色にはその地域ならではの特殊性と一般的な共通性があることを理解できるようにする。
- (3) 歴史的事象に対する関心を持ち、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解できるようにする。
- (4) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考え、国際協調の精神の大切さに気付くようにする。
- (5) 社会的な事象を多角・多面的に考察し、物事の調べ方、学び方を学ぶ。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1 学期	4 ・ 5 月	<b>【地理】</b> 第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 第1章 身近な地域の調査	◇少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ◇日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ◇国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ◇地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ◇地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。
	6 ・ 7 ・ 8 月	<b>【歴史】</b> 第3章 武家政権の展開と世界の動き 第3節 武士による全国支配の完成 第4節 天下泰平の世の中 第5節 社会の変化と幕府の対策	◇統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ◇身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ◇社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。

1 学 期	9 ・ 10 月	<p><b>【地理】</b></p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第1節 九州地方</p> <p>第2節 中国・四国地方</p> <p>第3節 近畿地方</p> <p>第4節 中部地方</p>	<p>◇地図や資料から、各地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解する。</p> <p>◇他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察する。</p> <p>◇自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた各地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究する。</p>
2 学 期	10 ・ 11 ・ 12 月	<p><b>【歴史】</b></p> <p>第4章 近代国家の歩みと国際社会</p> <p>第1節 欧米諸国における「近代化」</p> <p>第2節 開国と幕府の終わり</p> <p>第3節 明治政府による「近代化」の始まり</p> <p>第4節 近代国家への歩み</p> <p>第5節 帝国主義と日本</p> <p>第6節 アジアの強国の光と影</p>	<p>◇欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>◇開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p> <p>◇自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。</p> <p>◇我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</p> <p>◇工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>◇近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>◇近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>
	1 ・ 2 ・ 3 月	<p>第2章 日本の諸地域</p> <p>第5節 関東地方</p> <p>第6節 東北地方</p> <p>第7節 北海道地方</p> <p>第4部 地域の在り方</p>	<p>◇関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>◇東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それにともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察する。</p> <p>◇自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究する。</p> <p>◇地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。</p>

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> <li>・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる力を身に付けている。</li> <li>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる力を身に付けている。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や世界の地域に関わる諸事象、歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さや、我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。</li> </ul>
<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題 など</p>	<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題、レポート など</p>	<p>【評価方法】</p> <p>授業時の課題への取組の様子、レポート・課題への取組 など</p>

【学習へのアドバイス】

(1) 学習前の準備

- ①教科書、地図帳など授業で使うものを忘れてくると、大きな支障をきたすので、持ち物の確認をきちんとして授業に臨みましょう。
- ②次回の授業分の教科書の本文を読んで、読めない漢字や意味の分からない言葉があれば調べておきましょう。

(2) 授業中は・・・

- ①積極的に課題に取り組み、話し合い活動や発表では率先して自分の考えを発言しましょう。
- ②課題プリントやワークシートを渡されたら、必ずファイリングしておきましょう。
- ③ノートやワークシートには、先生がまとめた板書事項だけでなく、先生の大事な話や、授業中に自分で気付いたことなどもメモするようにしましょう。
- ④疑問点があったらそのままにせず、友達に聞いたり、授業中や授業後に先生に積極的に質問したりしましょう。

(3) 復習では・・・

- ①授業があったその日のうちに自主学習帳に取り組み、どんなことを授業で学習したのかを振り返りましょう。
- ②定期テストの前には、しっかり試験範囲を確認し、教科書やプリントなどを見直すとともに、もう一度自主学習帳を解き直し、学習内容がしっかり定着しているか確認しましょう。

#### (4) ニュースを見ましょう

- ① 普段から新聞やテレビを見たり，動画サイトで時事ニュースの解説を見たりしてみましょう。また，そのニュースの話題が世界や日本のどこで起こっているのかを地図帳で調べたり，その原因や自分ができることなどを考え，文章にまとめることができるようにしましょう。

令和5年度 年間計画◇評価計画

教科	社会科	学年	第3学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 近・現代史を学ぶことにより現代社会の様々な事象に関心を持ち、探求しようという姿勢を育てる。
- (2) 現代の社会的事象に対して関心を持ち、それを意欲的に追究しようとするとともに、課題を見いだして、広い視野に立ってその解決策を考えられるようにする。
- (3) さまざまな資料を適切に収集、選択して、多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに、適切に文章などで表現できるようにする。
- (4) 現代の社会的事象の背景にある政治や経済のしくみや理念を理解し、相互の関連などを多面的に考察しようとする姿勢を育てる。

【年間指導計画】

学期	月	単元◇題材	学習活動
1 学 期	4 ・ 5 月 ・ 6 月	<b>【歴史】</b> 第5章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 第2節 高まるデモクラシーの意識 第3節 戦争に向かう世論 第4節 第二次世界大戦の惨禍 第6章 現在に続く日本と世界 第1部 敗戦から立ち直る日本 第2節 世界の多極化と日本の成長 第3節 これからの日本と世界	◇大日本帝国憲法制定により、アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことの意義や現代の政治とのつながりを考察する。 ◇条約改正と日清・日露戦争の経緯を概観し、日本の国際社会での地位がどのように変化していったのかを理解する。 ◇富国強兵・殖産興業政策の下、日本の近代産業が飛躍的に発展する一方、農村の生活の変化や社会問題の発生に気付く。 ◇第一次世界大戦が、その後の国際情勢及び日本にどのような影響を及ぼしたかについて考察する。 ◇世界恐慌が資本主義国に与えた影響と日本の突き進んだ軍国主義との関連について考察する。 ◇日中戦争からアジア・太平洋戦争に至る経緯とアジアの国々の反応について理解する。 ◇敗戦後の日本の状況と東西冷戦について考察する。 ◇日本の高度経済成長について理解する。 ◇平和国家としての日本の進むべき道について考える。
	7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 月	<b>【公民】</b> 第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化	◇高度経済成長以降のさまざまな変化から、現代社会の特徴と課題を理解する。 ◇情報化、グローバル化、少子高齢化を自らの問題としてとらえ、これらによって起こる社会や生活の変化について理解する。 ◇科学、芸術、宗教などの文化と社会生活との関わりを身近な事例からとらえ、文化によって豊かな生活を享受できていることを理解する。

1 学 期	7	3節 現代社会の見方や考え方	◇社会生活におけるきまりの意義について,対立と合意,効率と公正などの見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考える。
	8	第2章 個人の尊重と日本国憲法	◇日本国憲法の三つの基本原則のうち,国民主権と平和主義についてその意義や概要を理解する。
	9	1節 人権と日本国憲法	◇もう一つの基本原則である基本的人権の尊重について,その内容を具体的な生活との関わりからとらえる。
	10 月	2節 人権と共生社会	◇自由・権利と責任・義務の関係を広い視野からおさえることで,個人の尊厳と人権尊重の意義を理解する。
		3節 これからの人権保障	
		第3章 現代の民主政治と社会	◇現代の政治(選挙,国会,内閣,裁判所),地方自治の基本的な考えと仕組みを理解する。
	1節 現代の民主政治	◇我が国の政治が日本国憲法にもとづいて行われていることや,民主的な社会には法にもとづいた政治が大切であることを理解する。	
	2節 国の政治の仕組み	◇民主政治を推進するためには,公正な世論の形成と国民の政治参加が大切であることに気づくとともに,選挙の意義を考え,将来の主権者として必要な知識を身につける。	
	3節 地方自治と私たち		
2 学 期	10	第4章 私たちの暮らしと経済	◇経済が社会生活と関わりを持っていることを,その意義も含めて理解する。
	11	1節 消費生活と市場経済	◇市場経済の基本的な考え方や現代の生産の仕組みのあらましを理解する。
	12	2節 生産と労働	◇国民生活と福祉の向上を図るために,国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考える。
	月	3節 市場経済の仕組みと金融	◇対立と合意,効率と公正,分業と交換,希少性などの見方・考え方を働かせて,社会を豊かにするために経済に求められる働きについて,多面的・多角的に考える。
		4節 財政と国民の福祉	
		5節 これからの経済と社会	
1	第5章 地球社会と私たち	◇国際社会のかかえている地球的・人類的な課題の内容と,その解決のためにどのような努力がされているかを理解するとともに,地球市民の一人としてとるべき態度について考える。	
2	1節 国際社会の仕組み	◇国際連合は国際社会の中で,どのような役割を果たしているのかを理解する。	
3	2節 さまざまな国際問題	◇世界平和の実現と人類の福祉のためには,国家間の相互の主権の尊重と協力,各国民の相互理解と協力が大切だということに気づく。	
月	3節 これからの地球社会と日本		
	終章 より良い社会を目指して	◇「持続可能な社会」の実現に向けて,私たちはどのように行動すべきかを考える。	

## 【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> <li>・個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる力を身に付けている。</li> <li>・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。</li> <li>・現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。</li> </ul>
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題 など</p>	<p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期テスト、小テスト、授業時の課題、レポート など</p>	<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業時の課題への取組の様子、レポート・課題の提出状況 など</p>

## 【学習へのアドバイス】

### (1) 学習前の準備

- ①教科書、地図帳など授業で使うものを忘れてくると、大きな支障をきたすので、持ち物の確認をきちんとして授業に臨みましょう。
- ②次回の授業分の教科書の本文を読んで、読めない漢字や意味の分からない言葉があれば調べておきましょう。

### (2) 授業中は・・・

- ①積極的に課題に取り組み、話し合い活動や発表では率先して自分の考えを発言しましょう。
- ②課題プリントやワークシートを渡されたら、必ずファイリングしておきましょう。
- ③ノートやワークシートには、先生がまとめた板書事項だけではなく、先生の大事な話や、授業中に自分で気付いたことなどもメモするようにしましょう。
- ④疑問点があったらそのままにせず、友達に聞いたり、授業中や授業後に先生に積極的に質問したりしましょう。

(3) 復習では・・・

- ①授業があったその日のうちに自主学習帳に取り組み、どんなことを授業で学習したのかを振り返りましょう。
- ②定期テストの前には、しっかり試験範囲を確認し、教科書やプリントなどを見直すとともに、もう一度自主学習帳を解き直し、学習内容がしっかり定着しているか確認しましょう。

(4) ニュースを見ましょう

- ①普段から新聞やテレビを見たり、動画サイトで時事ニュースの解説を見たりしてみましょう。また、そのニュースの話題が世界や日本のどこで起こっているのかを地図帳で調べたり、その原因や自分ができることなどを考え、文章にまとめることができるようにしましょう。